

## 家読に取り組む村

福島県石川郡平田村小平（おだいら）こども園では、日常的に絵本を通した子どもたちの豊かな人間性を育む読書教育環境づくりに取り組んでいます。その取組の一端をお知らせします。

「絵本のある子育てのために」というパンフレットには、「絵本の『力』が子どもの『生きる力』を育てます」という呼びかけがあり、その中に「こどもが絵本好きになるための5つの工夫！」というのが載っていました。学校でも参考になるので、下に紹介します。

### 「読みなさい」と言わない

何事も強制されたことには、前向きになれないものです。「楽しい」と思える空間づくりを！

### 子どもの手の届く場所へ絵本を

階段、トイレ、テレビ横、どこでもいいんです。絵本がいつでも手の届く場所にあることが大事！

### 子どもに絵本を選ばせる

大人が準備する絵本もいいですが、やっぱり子ども自身が興味を持った絵本がいい！

### 親子で一緒に本屋・図書館へ

本屋さんや図書館には選び抜かれた絵本がいっぱい！親子で行くから楽しいんです！

### なんどいっても「家読」を楽しむ

お家の方のひざの上で、温かなぬくもりを感じながら見る絵本は何物にも替えられないはず！

また、「**家読の樹**」には、「家読」で育まれる力の紹介がありました。内容をお知らせします。

### 「愛情という土壌」

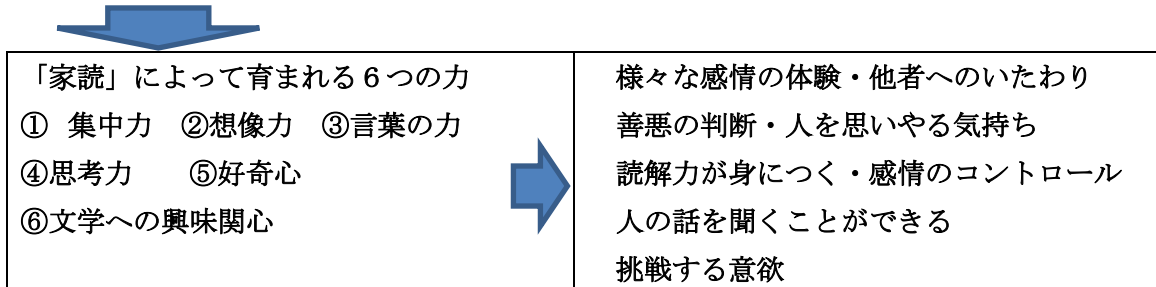
親の愛情は、子どもの心＝心の土壌を耕し、大きな樹木の成長を支えます。この土壌は、親や周囲の大人が子どもにどう関わるかで大きく変わり、樹木へたくさんの栄養を送ることができます。

### 太陽：「家読」というコミュニケーション

「家読」は、親子の絆を深め、温かい時間と空間を共有することで絵本の良さを改めて確認することができます。

### 雨：「読み聞かせ」というかわり

「読み聞かせ」は、子どもの想像力を掻き立て、主人公への共感や憧れを育てます。



「絵本」を「本」と替えて読んでも大いに納得できる内容ですね。子どもたちにとって少しでも本が身近になるような取組を家庭と一緒に進めていきたいです。まもなく新しい年になります。来年もよろしくお願ひします。 (11・28実施の担当者研修会については次号でお知らせします。)